

7・27(月)南予全域から宇和島へ！

PM3時 道の駅「きさいや広場」集合

←四電宇和島支社へ南予住民の意志を突き付けよう！

伊方原発を動かすな！

福島を繰り返さない！南予のふるさと・命が大事！

- 四電は伊方原発3号機の再稼働を断念せよ！南予を第2の福島にするな！
- 四電は原子力から撤退し、南予を放射能の恐怖から解放せよ！
- 四電は伊方原発を廃炉事業の先進地にせよ！
- 四電は地域に貢献する自然エネルギーの活用・普及に力を注げ！
- 四電は南予全域の住民に説明をし、公開討論会に応じよ！

7月27日(月) PM3時 道の駅「きさいや広場」 30分程の集会後、デモ→市役所
を經由して四電宇和島支社(南予全域を管轄)へ。抗議・申し入れ行動。

※きさいや広場；車→宇和島道(松山道)朝日ICを降りてすぐ。JR→宇和島駅から徒歩13分。

STOP！伊方原発・南予連絡会

連絡先 090-1791-1105 (八木)

第50回・伊方原発ゲート前座り込み行動（11行動）

7月11日(土) AM10時～ に参加を！

2011年6月11日に、八幡浜・原発から子どもを守る女の会の3人の女性によって始められた、伊方原発ゲート前座り込み行動！それから4年有余、雨の日も、風の日も、寒風吹きすさぶ真冬の日も、焼けつくような日射しの真夏の日も、毎月11の日に休むことなく続けられてきました。それは命のために原発を拒否する、子どもたちの未来のために自分たちの世代で原発をなくす、福島を繰り返さない、という強い意志を表し続けるものでした。

この行動には、毎回15～50人の人たちが参加し、南予地域だけではなく、松山・今治・新居浜といった全県下から、また高松・徳島・高知の全四国から、さらには広島・山口・大分といった環瀬戸内海地域、関東・東北からも参加し、伊方原発に反対する人々の結び目にもなってきました。

来る7月11日、この伊方原発ゲート前座り込み行動は50回目を迎えます。折しも、規制委の審査書正式決定を間近にし、四電が20km圏全戸訪問を開始しようとし、年内再稼働に向けて強引に工事を推進しているさなかにあります。

50回目の行動を、伊方原発の再稼働を止めようとする強い大きな意志の塊りとして四電に示そうではありませんか。



7月11日(土) 午前10時～12時 伊方原発ゲート前（雨天決行） 終了後、その場で昼食会

※当日、広島・大分のピースリングの人たちが船を出して海上行動を行います。陸と海から呼応した行動を！

※はじめての参加者へ。伊方原発ゲート前へは国道197号線(メロディーライン)沿いのきらら館のところを右に入り、坂道を下っていきます。途中で二つに分かれています、左側を進んで下さい。

※ゲート前からは伊方原発の全貌を見渡せ、四電が進めている大規模工事も見渡せます。また遠くに祝島も見えます。